

2019年度 決算情報

2020年5月13日

田辺三菱製薬株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提を
おいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がござい
ますので、ご了承ください。

医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイ
スを目的とするものではありません。



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ

広報部 TEL 06-6205-5211

FAX 06-6205-5105

目次

1	2019年度 決算の概要				
	1. 2019年度 業績サマリー	2. 2020年度 業績予想サマリー	3. 配当金	……	2
2	2019年度 連結決算について				
	1. 損益状況			……	3
	損益実績			……	3
	主要製品売上収益			……	4
	2. 財務状況			……	5
	資産・負債・資本の状況			……	5
	キャッシュ・フロー計算書			……	6
	設備投資 / 情報システム開発投資	減価償却費および償却費		……	7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数			……	7
3	2020年度 業績予想について				
	損益予想			……	8
	主要製品売上収益予想			……	9
4	5ヵ年連結財務数値				
	損益計算書	財政状態計算書	その他財務数値	従業員数	…… 10
5	四半期業績の推移				
	損益計算書			……	11
	主要製品売上収益			……	12
6	新製品開発状況について(2020年4月30日現在)				
	免疫炎症	糖尿病・腎		……	13
	中枢神経	ワクチン		……	14
	その他			……	15
	2019年度第3四半期決算発表からの変更点			……	15
7	関係会社				
	関係会社数	連結子会社一覧	関連会社およびジョイントベンチャー一覧	……	16
	参考				
	主要医療用医薬品の解説 / ニュースリリース			……	17

1 2019年度 決算の概要

(億円未満切り捨て)

<ジレニア ロイヤリティについて>

当社は、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」と)の間で仲裁手続きが進行中であることを受け、「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分につきましては、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」が定める収益認識基準の要件を満たさなくなったため、売上収益の認識を行っていません。また、仲裁手続き中は同様の会計処理を継続することとしており、2020年度につきましても、仲裁手続きが継続していることを見込んで業績予想を策定しております。

当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

1. 2019年度 業績サマリー

売上収益	3,798 億円	前期比	449 億円	10.6 %
国内	3,139 億円	前期比	62 億円	2.0 %
海外	658 億円	前期比	512 億円	43.7 %

国内医療用医薬品は、2019年10月の薬価改定の影響はあったものの、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤「カナグル」が順調に伸長したことに加え、2018年12月に投薬制限が解除されたアレルギー性疾患治療剤「ルバフィン」の増収、2018年7月にヤンセンファーマとの販売枠組みを変更した効果が通期寄与したクローン病などの治療剤「ステララ」の増収などにより、前期比1.9%増収の3,043億円となりました。

海外医療用医薬品は、2017年8月に米国で発売した筋萎縮性側索硬化症(Amyotrophic Lateral Sclerosis)ALS治療剤「ラジカヴァ」が新規処方待機患者が一巡したことによる減収などにより、前期比9.8%減収の497億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ノバルティス社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」やJanssen Pharmaceuticals, Inc.(以下「ヤンセンファーマシューティカルズ社」)に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入の減少などにより、前期比72.4%減収の174億円となりました。

コア営業利益(注)	190 億円	前期比	367 億円	65.9 %
-----------	--------	-----	--------	--------

ロイヤリティ収入の減収が大きく影響し、販売費および一般管理費や研究開発費が減少したものの、減益となりました。

(注)当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等を想定しております。

営業利益	60 億円	前期比	563 億円	112.1 %
------	-------	-----	--------	---------

非経常項目において、製品に係る無形資産の減損損失、構造改革費用等を計上したため、大幅な減益となりました。

税引前利益	64 億円	前期比	569 億円	112.9 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1 億円	前期比	372 億円	99.6 %

2. 2020年度 業績予想サマリー

売上収益	3,835 億円	前期比	36 億円	1.0 %
コア営業利益	100 億円	前期比	90 億円	47.5 %
営業利益	170 億円	前期比	230 億円	-
税引前利益	175 億円	前期比	239 億円	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	85 億円	前期比	83 億円	-

(注)上記業績予想には、新型コロナウイルス感染症の影響を含んでおりません。

3. 配当金

	2019年度		
	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円)	28	-	28

(注)支配株主である三菱ケミカルホールディングスによる当社の完全子会社化により、当社株式は2020年2月27日をもって上場廃止となりました。また、当社は、2019年11月18日開催の取締役会において、同日公表いたしました「三菱ケミカルホールディングスによる当社普通株式を対象とする公開買付け」成立を条件に、2019年度の期末配当を行わないことを決議しております。

2 2019年度 連結決算について

(億円未満切り捨て)

1. 損益状況

損益実績

(単位: 億円)

	2019年度	前期比較			予想比較			主なポイント (前期比較)
		2018年度	増減額	増減率%	当初予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	3,798	4,247	449	10.6	3,760	38	1.0	P4「主要製品売上収益」参照
国内	3,139	3,077	62	2.0	3,083	56	1.8	
海外	658	1,170	512	43.7	676	18	2.7	
海外売上比率	17.3%	27.6%			18.0%			
売上原価	1,810	1,806	3	0.2	1,785	25	1.4	ロイヤリティ収入の減少等による売上原価率上昇
売上原価率	47.7%	42.5%			47.5%			
売上総利益	1,988	2,441	453	18.6	1,975	13	0.7	
販管費	975	982	6	0.7	990	14	1.4	業務生産性改革の推進等による減少
販管費比率	25.7%	23.1%			26.3%			
研究開発費	794	865	70	8.2	855	60	7.1	
研究開発費比率	20.9%	20.4%			22.7%			
製品に係る無形資産償却費	24	29	4	15.1	25	0	0.4	
その他損益(注2)	2	5	3	-	5	2	-	
コア営業利益	190	558	367	65.9	100	90	90.6	
非経常項目(注2)	251	55	196	-	15	266	-	メディカゴの米国開発計画変更に伴う製品に係る無形資産の減損損失 240億円ほか
営業利益(注2)	60	503	563	112.1	115	175	152.8	
金融収益	10	12	2	18.4				
受取利息・受取配当金	10	11	1	10.6				
その他	-	1	1	100.0				
金融費用	14	11	3	28.1				
支払利息	2	1	1	74.2				
為替差損	9	8	0	6.3				
その他	2	0	1	191.8				
税引前利益(注2)	64	504	569	112.9	120	184	154.0	
法人所得税	28	182	153	84.2				
当期利益(注2)	93	322	415	129.1				
親会社の所有者に帰属する当期利益	1	373	372	99.6	50	48	97.1	
総人件費	772	741	31	4.2	745	27	3.7	

(注1) 2019年5月10日に公表した当初業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

(単位: 円)

為替レート	2019年度 平均レート	2018年度 平均レート	2019年度 計画レート
米ドル	108.95	111.07	110.00
カナダドル	81.68	84.47	85.00
ユーロ	120.85	128.26	125.00

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約 19億円、コア営業利益で約 + 17億円の影響がありました。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2019年度	前期比較			予想比較		
		2018年度	増減額	増減率%	当初予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,043	2,987	55	1.9	2,981	62	2.1
レミケード	533	588	54	9.3	515	17	3.5
シンボニー	409	374	34	9.2	422	12	3.0
ステラール	260	152	108	71.0	216	43	20.1
テネリア	152	152	0	0.1	150	1	1.0
カナグル	88	67	21	31.1	104	15	15.1
カナリア	67	74	6	9.2	72	4	6.6
クレメジン	66	66	0	0.1	83	16	19.9
レクサプロ	149	140	9	6.7	147	1	1.1
セレジスト	75	89	14	16.3	85	10	12.3
ルパフィン	67	34	33	96.9	75	7	9.9
タリオン	46	64	17	27.2	54	8	14.8
ワクチン	389	373	16	4.5	362	27	7.6
インフルエンザ	126	102	23	23.1	107	18	17.2
テトラビック	94	85	9	10.8	100	5	5.6
水痘ワクチン	49	51	1	3.5	51	2	5.1
ミールビック	59	68	9	13.6	48	11	23.2
ジェービックV	51	55	3	6.4	45	5	12.4
海外医療用医薬品	497	551	53	9.8	496	0	0.1
ラジカヴァ	231	270	39	14.5	220	11	5.0
ヘルベッサー	70	68	1	2.0	72	2	3.2
シンボニー	21	20	1	9.7	20	0	4.7
アルガトロバン	18	19	0	0.3	17	1	6.8
タナトリル	13	15	1	12.1	16	2	18.2
ロイヤリティ収入等	174	631	456	72.4	192	18	9.5
ジレニア ロイヤリティ(注2)	57	497	440	88.5	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	85	105	20	19.6	非開示	-	-
一般用医薬品	38	37	1	2.9	43	4	10.2
その他(注3)	44	39	4	11.1	46	2	4.4
売上収益合計	3,798	4,247	449	10.6	3,760	38	1.0

(注1) 2019年5月10日に公表した当初業績予想数値

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2019年度末	構成比%	2018年度末	増減額	主なポイント
資産	10,462	100.0	10,562	100	
非流動資産	4,528	43.3	4,678	150	
有形固定資産	860	8.2	733	127	設備投資+141億円、減価償却 69億円ほか
のれん	896	8.6	916	19	
無形資産	1,813	17.3	2,069	255	メディカゴの米国開発計画変更に伴う製品に係る無形資産の減損損失 240億円ほか
持分法で会計処理されている投資	161	1.5	162	1	
その他の金融資産	340	3.3	462	121	
退職給付に係る資産	224	2.1	214	9	
その他の非流動資産	3	0.0	2	1	
繰延税金資産	226	2.2	116	109	
流動資産	5,934	56.7	5,884	50	
棚卸資産	803	7.7	755	47	
営業債権(注1)	1,085	10.4	1,169	83	
(営業債権回転月数)	(3.43)		(3.30)		
その他の金融資産	3,002	28.7	2,714	288	
その他の流動資産	154	1.5	110	44	
現金及び現金同等物	830	7.9	1,118	287	P6「キャッシュ・フロー計算書」参照
売却目的で保有する資産	57	0.6	16	41	
負債	1,883	18.0	1,459	424	
非流動負債	903	8.6	542	360	
借入金	16	0.2	1	14	
その他の金融負債	109	1.0	21	88	
退職給付に係る負債	4	0.0	6	1	
引当金	61	0.6	69	8	
その他の非流動負債	408	3.9	51	357	
繰延税金負債	302	2.9	392	89	
流動負債	980	9.4	916	63	
借入金	0	0.0	0	0	
営業債務(注2)	321	3.1	314	6	
その他の金融負債	369	3.5	270	98	
未払法人所得税	51	0.5	95	44	
引当金	16	0.2	16	0	
その他の流動負債	217	2.1	216	0	
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	4	0.0	2	1	
資本	8,579	82.0	9,103	524	
資本金	500	4.8	500	-	
資本剰余金	4,480	42.8	4,512	32	
自己株式	5	0.0	10	5	
利益剰余金	3,584	34.3	3,879	295	当期利益1億円、配当金支払 314億円
その他の資本の構成要素	37	0.4	94	131	
非支配持分	57	0.5	127	70	

(注1) 営業債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注2) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2019年度	2018年度	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,118	1,270	151
営業キャッシュ・フロー	494	414	79
税引前利益	64	504	569
減価償却費及び償却費	153	115	37
減損損失	241	0	241
減損損失戻入益	17	-	17
受取利息及び受取配当金	10	11	1
持分法による投資損益(は益)	0	0	0
構造改革費用	12	56	44
営業債権の増減額(は増加)	83	65	17
棚卸資産の増減額(は増加)	54	66	121
営業債務の増減額(は減少)	11	47	59
引当金の増減額(は減少)	8	19	11
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	5	1	3
繰延収益の増減額(は減少)	6	6	-
利息・配当金の受取額	10	12	2
利息の支払額	2	2	0
法人所得税の支払額	224	355	130
その他	365	33	332
投資キャッシュ・フロー	392	312	80
定期預金の預入による支出	50	17	32
定期預金の払戻による収入	6	52	46
有形固定資産の取得による支出	123	57	65
有形固定資産の売却による収入	15	0	15
無形資産の取得による支出	67	37	29
投資の取得による支出	3,463	4,506	1,043
投資の売却及び償還による収入	4,439	4,223	215
預け金の預入による支出	1,200	0	1,199
子会社の売却による収入	10	-	10
事業譲渡による収入	40	30	10
その他	0	0	0
財務キャッシュ・フロー	378	258	120
リース負債の返済による支出	79	1	77
長期借入れによる収入	16	-	16
非支配株主からの払込による収入	-	62	62
配当金の支払額	314	314	-
その他	2	6	4
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	11	5	17
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	288	150	137
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	0	0	1
現金及び現金同等物期末残高	830	1,118	287

設備投資 / 情報システム開発投資

(単位:億円)

	2019年度	2018年度	増減額
設備投資額 / 発生ベース	141	68	72
システム投資額 / 発生ベース	13	17	3

2019年度の主な設備投資		2019年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	16億円	田辺三菱製薬	9億円
メディカゴ	83億円		
(ケバック新工場建設)	(72億円)		

減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2019年度	2018年度	増減額
有形固定資産	69	71	1
無形資産(製品に係るものを除く)	14	14	0
製品に係る無形資産	24	29	4

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	ミツビシタナベファーマホールディングス アメリカ	メディカゴ	ニューロゲーム	天津田辺製薬	ミツビシタナベファーマコリア
売上収益	2019年度	258	301	1	-	56	62
	2018年度	263	339	6	-	58	64
営業利益	2019年度	17	9	374	106	8	4
	2018年度	16	34	136	77	4	5
当期利益	2019年度	12	7	308	106	4	3
	2018年度	12	29	137	77	1	4
研究開発費	2019年度	8	41	122	106	0	-
	2018年度	8	40	142	77	0	-
有形固定資産 減価償却費	2019年度	24	1	5	0	2	1
	2018年度	24	1	5	0	2	0
資産合計	2019年度末	467	344	185	1,359	57	43
	2018年度末	451	540	389	1,375	56	47
資本合計	2019年度末	396	233	103	1,033	33	34
	2018年度末	390	229	263	1,035	32	35
従業員数(人)	2019年度末	579	256	506	126	519	151
	2018年度末	633	265	421	100	508	143

* 上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

3 2020年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

損益予想

(単位:億円)

	2020年度 予想(注1)	前期比較			主なポイント(前期比較)
		2019年度 実績	増減額	増減率%	
売上収益	3,835	3,798	36	1.0	PG [†] 主要製品売上収益予想, 参照
国内	3,141	3,139	1	0.0	
海外	694	658	35	5.4	
海外売上比率	18.1%	17.3%			
売上原価	1,875	1,810	64	3.6	薬価改定の影響等による売上原価率 上昇
売上原価率	48.9%	47.7%			
売上総利益	1,960	1,988	28	1.4	
販管費	995	975	19	2.0	業務生産性改革を推進し経費削減に 努める一方、グローバル開発品の販売 準備費用等を見込む
販管費比率	25.9%	25.7%			
研究開発費	835	794	40	5.1	主にグローバル開発品の臨床試験費 用の増加
研究開発費比率	21.8%	20.9%			
製品に係る 無形資産償却費	30	24	5	20.4	
その他損益(注2)	-	2	2	-	
コア営業利益	100	190	90	47.5	
非経常項目(注2)	70	251	321	-	
営業利益(注2)	170	60	230	-	
税引前利益(注2)	175	64	239	-	
当期利益(注2)	55	93	148	-	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	85	1	83	-	

(注1) 上記業績予想には、新型コロナウイルス感染症の影響を含んでおりません。

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

為替レート

(単位:円)

	2020年度 想定レート	2019年度 平均レート
米ドル	108.00	108.95
カナダドル	83.00	81.68
ユーロ	120.00	120.85

主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2020年度 予想	前期比較		
		2019年度 実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,035	3,043	8	0.3
重点品	1,823	1,771	52	2.9
レミケード	447	533	85	16.1
シンボニー	422	409	13	3.2
ステラール	328	260	68	26.2
テネリア	149	152	2	1.9
カナグル	91	88	3	3.4
カナリア	93	67	25	38.4
レクサプロ	146	149	3	2.1
ルパフィン	102	67	34	51.3
イムセラ	41	42	0	2.3
ワクチン	409	389	19	5.1
インフルエンザ	122	126	3	3.1
テトラビック	112	94	17	18.7
水痘ワクチン	48	49	0	1.7
ミールビック	64	59	4	8.3
ジェービックV	53	51	1	3.4
長期収載品等	802	882	80	9.1
海外医療用医薬品	509	497	11	2.4
ラジカヴァ	223	231	7	3.3
ロイヤリティ収入等	198	174	24	14.1
ジレニア ロイヤリティ(注)	非開示	57	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	85	-	-

(注) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満切り捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 予想
売上収益	4,257	4,239	4,338	4,247	3,798	3,835
売上原価	1,558	1,643	1,697	1,806	1,810	1,875
売上総利益	2,699	2,595	2,641	2,441	1,988	1,960
販管費	963	983	1,040	982	975	995
研究開発費	646	647	790	865	794	835
コア営業利益	1,069	945	785	558	190	100
営業利益	818	940	772	503	60	170
税引前利益	832	960	787	504	64	175
当期利益	570	689	539	322	93	55
親会社の所有者に帰属する当期利益	593	712	579	373	1	85

財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末
資産	9,584	9,845	10,484	10,562	10,462
非流動資産	3,082	3,007	4,629	4,678	4,528
流動資産	6,501	6,837	5,855	5,884	5,934
負債	1,321	1,131	1,536	1,459	1,883
非流動負債	332	247	554	542	903
流動負債	989	884	981	916	980
資本	8,263	8,714	8,948	9,103	8,579

その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	669	414	494	-
投資キャッシュ・フロー	422	105	191	312	392	-
財務キャッシュ・フロー	222	244	325	258	378	-
設備投資	121	144	61	86	155	182
減価償却費および償却費	103	104	115	115	109	157
有形	72	73	75	71	69	114
無形(製品に係るものを含む)	30	31	39	43	39	43
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	87.4	84.2	85.0	81.4	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	6.6	4.2	0.0	-
基本的1株当たり当期利益(円)	105.72	127.03	103.35	66.64	0.26	-
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	1,574.26	1,600.64	1,519.22	-

従業員数

(単位:人)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末 予想
連結	8,125	7,280	7,187	7,228	6,987	7,000
単体	4,780	4,239	4,222	4,111	3,764	3,450

5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2018年度					2019年度				
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績
売上収益	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 25.8%	899 23.7%	1,093 28.8%	824 21.7%	3,798 100.0%
国内	741 24.1%	723 23.5%	899 29.2%	713 23.2%	3,077 100.0%	807 25.7%	738 23.5%	926 29.5%	667 21.3%	3,139 100.0%
海外	311 26.6%	320 27.4%	328 28.1%	209 17.9%	1,170 100.0%	173 26.4%	161 24.5%	166 25.3%	156 23.8%	658 100.0%
売上原価	423	437	530	414	1,806	447	437	545	379	1,810
売上原価率	40.2%	42.0%	43.2%	44.9%	42.5%	45.6%	48.6%	49.9%	46.1%	47.7%
売上総利益	630 25.8%	605 24.8%	697 28.6%	508 20.8%	2,441 100.0%	533 26.8%	462 23.3%	547 27.5%	444 22.4%	1,988 100.0%
販管費	231 23.6%	245 25.0%	254 25.9%	250 25.5%	982 100.0%	229 23.5%	238 24.5%	237 24.3%	270 27.7%	975 100.0%
研究開発費	196 22.7%	199 23.0%	223 25.8%	246 28.5%	865 100.0%	199 25.1%	198 25.0%	177 22.4%	218 27.6%	794 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	29 100.0%	6 26.0%	6 24.4%	6 24.7%	6 24.9%	24 100.0%
その他損益(注)	1 -	1 -	0 -	1 -	5 -	0 -	0 -	1 -	0 -	2 -
コア営業利益(注)	193 34.6%	151 27.2%	210 37.7%	2 0.5%	558 100.0%	97 51.2%	19 10.2%	124 65.5%	51 26.9%	190 100.0%
営業利益(注)	193 38.4%	151 30.2%	219 43.6%	61 12.2%	503 100.0%	96 -	29 -	124 -	310 -	60 -
税引前(四半期)利益(注)	197 39.1%	150 29.9%	217 43.1%	61 12.1%	504 100.0%	92 -	29 -	124 -	310 -	64 -
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益(注)	139 37.4%	110 29.5%	164 44.1%	40 11.0%	373 100.0%	68 -	14 -	99 -	180 -	1 -

* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注) 費用・損失の場合に 表示しております。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2018年度					2019年度				
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績
国内医療用医薬品	716 24.0%	699 23.4%	876 29.3%	695 23.3%	2,987 100.0%	781 25.7%	710 23.3%	904 29.7%	647 21.3%	3,043 100.0%
レミケード	151 25.7%	148 25.2%	160 27.2%	128 21.9%	588 100.0%	144 27.1%	131 24.7%	148 27.9%	108 20.4%	533 100.0%
シンボニー	90 24.0%	95 25.4%	102 27.3%	87 23.3%	374 100.0%	105 25.7%	99 24.3%	112 27.5%	92 22.6%	409 100.0%
ステララ	2 1.4%	45 30.0%	56 37.3%	47 31.3%	152 100.0%	61 23.8%	63 24.6%	77 29.9%	56 21.8%	260 100.0%
テネリア	44 29.5%	27 18.0%	39 25.8%	40 26.7%	152 100.0%	47 30.9%	33 22.3%	40 26.3%	31 20.5%	152 100.0%
カナグル	14 22.2%	15 22.9%	19 29.4%	17 25.5%	67 100.0%	21 24.4%	19 22.0%	24 28.1%	22 25.5%	88 100.0%
カナリア	14 19.1%	16 22.3%	23 31.1%	20 27.5%	74 100.0%	22 32.7%	15 23.0%	17 26.1%	12 18.2%	67 100.0%
クレメジン	17 25.5%	16 24.9%	18 27.6%	14 22.0%	66 100.0%	17 26.2%	16 24.1%	18 28.0%	14 21.7%	66 100.0%
レクサプロ	34 24.4%	34 24.4%	38 27.8%	32 23.4%	140 100.0%	38 26.1%	35 23.8%	41 27.9%	33 22.3%	149 100.0%
セレジスト	24 27.7%	22 24.6%	24 27.4%	18 20.3%	89 100.0%	21 28.9%	17 22.8%	21 29.1%	14 19.2%	75 100.0%
ルバフィン	1 5.0%	2 6.1%	5 16.7%	24 72.2%	34 100.0%	12 18.5%	12 18.4%	16 24.6%	26 38.5%	67 100.0%
タリオン	14 22.3%	11 17.9%	15 24.7%	22 35.1%	64 100.0%	12 26.5%	9 20.2%	12 25.8%	12 27.4%	46 100.0%
ワクチン	88 23.7%	67 18.1%	148 39.9%	68 18.4%	373 100.0%	73 18.7%	84 21.6%	171 44.1%	60 15.6%	389 100.0%
インフルエンザ	1 1.1%	10 10.6%	85 83.4%	7 7.0%	102 100.0%	0 0.1%	18 14.3%	106 84.3%	1 1.6%	126 100.0%
テトラビック	22 25.7%	19 23.0%	23 26.9%	20 24.4%	85 100.0%	23 25.0%	22 23.2%	25 26.5%	23 25.3%	94 100.0%
水痘ワクチン	14 27.7%	12 23.8%	13 25.7%	11 22.9%	51 100.0%	12 26.2%	12 24.7%	12 26.1%	11 23.1%	49 100.0%
ミールビック	33 48.0%	7 11.5%	12 17.4%	15 23.0%	68 100.0%	19 31.9%	16 27.1%	12 21.2%	11 19.8%	59 100.0%
ジェービックV	16 30.0%	14 25.8%	13 24.5%	10 19.7%	55 100.0%	15 29.3%	13 26.6%	12 25.1%	9 19.0%	51 100.0%
海外医療用医薬品	129 23.5%	145 26.3%	144 26.3%	131 23.9%	551 100.0%	125 25.3%	122 24.7%	126 25.4%	122 24.6%	497 100.0%
ラジカヴァ	64 23.7%	74 27.7%	67 25.0%	64 23.7%	270 100.0%	61 26.5%	55 23.8%	57 24.8%	57 24.9%	231 100.0%
ヘルベッサ	16 24.4%	16 23.9%	17 24.9%	18 26.7%	68 100.0%	17 25.5%	17 24.2%	16 22.8%	19 27.5%	70 100.0%
シンボニー	4 24.2%	5 25.0%	4 24.8%	5 26.1%	20 100.0%	5 23.4%	5 24.0%	5 25.6%	5 26.9%	21 100.0%
アルガトロバン	5 29.4%	4 24.5%	5 26.7%	3 19.3%	19 100.0%	4 25.3%	4 25.7%	4 23.9%	4 25.1%	18 100.0%
タナトリル	3 23.7%	4 30.7%	4 27.1%	2 18.5%	15 100.0%	3 26.6%	3 26.6%	3 28.3%	2 18.6%	13 100.0%
ロイヤリティ収入等	185 29.3%	177 28.2%	186 29.6%	81 12.9%	631 100.0%	50 29.0%	41 23.9%	43 25.2%	38 21.9%	174 100.0%
ジレニア ロイヤリティ(注1)	153 30.9%	145 29.3%	147 29.6%	50 10.2%	497 100.0%	16 29.3%	15 27.7%	13 23.8%	11 19.2%	57 100.0%
インヴォカナ ロイヤリティ	24 23.6%	24 23.4%	32 30.5%	23 22.5%	105 100.0%	20 24.2%	20 23.9%	24 28.3%	20 23.7%	85 100.0%
一般用医薬品	12 31.9%	9 26.4%	10 26.8%	5 14.9%	37 100.0%	12 33.4%	10 27.3%	9 24.5%	5 14.8%	38 100.0%
その他(注2)	10 25.9%	11 28.8%	9 22.9%	8 22.4%	39 100.0%	10 23.0%	14 33.8%	8 18.9%	10 24.4%	44 100.0%
売上収益合計	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 25.8%	899 23.7%	1,093 28.8%	824 21.7%	3,798 100.0%

* 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注2) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2020年4月30日現在)

免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547 (ファシヌマブ)	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(クローン病)	日本 フェーズ 2	
MT-7117	選択的メラノコルチン1受容体作動剤 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33)モノクローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
	(季節性アレルギー性鼻炎)	フェーズ 1	

糖尿病・腎

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	欧州 申請(2019年7月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米) へ導出
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	日本 フェーズ 3	自社創製品
		アジア 申請	自社創製品
		中国 申請(2019年9月)	
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	欧州 フェーズ 2	アケビア(米)から導入
		日本 申請(2019年7月)	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎: NASH)	日本 フェーズ 2	

アジア:日本・中国を除く

中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	アジア 申請	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	ゲデオシリタター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルパ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199 (バルベナジントシル酸 塩)	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンス(米) から導入
		アジア 申請	
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-0551 (イネピリズムアブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎関連疾患: NMOSD)	日本、アジア フェーズ 3	ビエラ・バイオ(米)から導入
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-8554	TRPM8遮断剤 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ 2	
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-6345	神経系用剤	フェーズ 1	宇部興産(日)と共同開発
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	フェーズ 1	大阪大学(日)と共同開発

ワクチン

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰 白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	カナダ 申請(2019年9月)	メディカゴ(カナダ)品
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	欧州 フェーズ 3	
		欧州 フェーズ 3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

アジア: 日本・中国を除く

その他

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (アレルギー性鼻炎、蕁麻疹)	アジア 申請	宇部興産(日) から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	中国、アジア フェーズ3	協和キリン(日) へ導出
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ1	自社創製品
MT-8633/TR1801-ADC	抗c-Met抗体薬物複合体 (固形がん)	フェーズ1	自社創製品 Open Innovation Partners(日)と協業

2019年度第3四半期決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2020年4月30日 現在	起源/導出先等
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	米国 フェーズ3	削除 (開発中止)	メディカゴ (カナダ)品
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	米国 フェーズ3	削除 (開発中止)	
MT-5199 (バルベナジントシル酸塩)	小胞モ/アミトランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	記載なし	アジア 申請	ニューロクラインバイ オサイエンシズ(米) から導入

アジア:日本・中国を除く

7 関係会社

関係会社数

	2019年度末	2018年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	33	34	1 (減少)	田辺製薬吉城工場
関連会社および ジョイントベンチャー数	1	2	1 (減少)	サンテラボ・タナベ シミイ
合計	34	36	2	

連結子会社一覧

(2020年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺三菱製薬プロビジョン	100百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品情報に係る業務、経理・総務・人事等の運営に係る業務
4	田辺バルムサービス	10百万円	100.0 (100.0)	3月末	印刷業務、社内郵便業務、オフィスサポート業務
5	ステリック再生医科学研究所	1百万円	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
6	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (-)	3月末	米国事業の統括
7	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
8	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
9	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
10	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
11	ミツビシ タナベ ファーマ カナダ	CAD 4 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
12	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 738.4 Mill.	100.0 (-)	3月末	メディカグループへの投資
13	メディカゴ	CAD 948.0 Mill.	68.3 (66.8)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
14	メディカゴ U.S.A.	USD 99	68.3 (68.3)	3月末	ワクチンの製造
15	メディカゴ R&D	CAD 500	68.3 (68.3)	3月末	ワクチンの研究開発
16	田辺三菱製薬研発(北京)	USD 1 Mill.	100.0 (-)	12月末	医薬品の研究開発
17	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
18	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
19	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の販売
20	ミツビシ タナベ ファーマ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
21	ミツビシ タナベ ファーマ シンガポール	SGD 3.7 Mill.	100.0 (-)	3月末	アセアン事業の統括
22	ミツビシ タナベ ファーマ マレーシア	MYR 5 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
23	ミツビシ タナベ ファーマ タイランド	THB103 Mill.	100.0 (2.0)	3月末	医薬品の販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
25	ニューロダーム	USD 58,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
26	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
27	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

* 上記以外に連結子会社が5社(内、清算手続中の会社が2社、休眠会社が1社)あります。また、業績連動型株式報酬にかかる信託を連結子会社に含めております。

関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2020年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	BIKEN	100百万円	33.4 (-)	3月末	ワクチンを含む生物学的製剤の製造・販売

参考 主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効分類	抗ヒTNF モノクローナル抗体製剤
早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、乾癬など13疾患の適応症を有する。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック			
シンボニー	2011年9月発売	薬効分類	ヒト型抗ヒTNF モノクローナル抗体製剤
4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、潰瘍性大腸炎を有する。オートインジェクター製剤を2019年5月から販売している。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック			
ステララー	2011年3月発売	薬効分類	ヒト型抗ヒIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤
炎症性サイトカインであるIL-12/23をターゲットとしたモノクローナル抗体で、12週間に1回の皮下注射投与により、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は乾癬、クローン病、潰瘍性大腸炎である。クローン病、潰瘍性大腸炎の適応について、当社とヤンセンファーマの両社でコ・プロモーションを展開している。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック			
イムセラ	2011年11月発売	薬効分類	多発性硬化症治療剤
多発性硬化症における神経炎症を抑制する経口投与(1日1回)が可能なファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い、当社では「イムセラ」、ノバルティスファーマでは「ジレニア」で販売されている。			
テネリア	2012年9月発売	薬効分類	選択的DPP-4阻害剤 -2型糖尿病治療剤-
当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチターゼ-4(DPP-4)阻害剤で、活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。			
カナグル	2014年9月発売	薬効分類	SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤-
当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体2(SGLT2)阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿酸排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め、海外では、ヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している。			
カナリア	2017年9月発売	薬効分類	選択的DPP-4阻害剤/SGLT2阻害剤 配合剤 -2型糖尿病治療剤-
日本で初めて発売されたDPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤を含有する配合剤であり、当社が創製した「テネリア」と「カナグル」が配合されている。本剤は、長期にわたる良好な血糖コントロールと服薬錠数が低減されることでアドヒアランスの向上に繋がることが期待されている。			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効分類	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
セロトントランスポーターに高い選択性を持つSSRIで、うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。社会不安障害(SAD)の適応も有する。用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬			
ラジカット(ラジカヴァ)	2001年6月発売	薬効分類	フリーラジカルスカベンジャー
日本で開発された世界初の脳保護剤である。脳梗塞急性期における神経症候、日常生活動作障害、機能障害を改善の効能効果を有する。また、2015年には、日本で筋萎縮性側索硬化症(ALS)の承認を取得し、その後、韓国や米国など海外でもALS治療薬として承認を取得している。			
ルパフィン	2017年11月発売	薬効分類	アレルギー性疾患治療剤
抗PAF(血小板活性化因子)作用と抗ヒスタミン作用を併せ持つ新しい作用機序を有し、即時型ならびに遅延型アレルギー症状の抑制が期待できる。「アレルギー性鼻炎」および「蕁麻疹」、「皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒」の効能を有する。 オリジン:ユリアック(スペイン)、製造販売元:帝國製薬			
インフルエンザワクチン	1972年9月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更されている。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
テトラビック	2012年10月発売	薬効分類	ワクチン・トキソイド混合製剤
百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎の予防に用いられる。既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
水痘および50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に用いられる。2014年に水痘(みずぼうそう)の予防として定期接種化された。また、2016年に、50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に関する効能・効果が承認されている。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
ミールピック	2005年12月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類混合製剤
麻疹および風しんの予防に用いられる。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻疹と風しんの両方の免疫を獲得できることから、保護者や医療関係者の負担軽減、麻疹および風しんの予防接種率向上に寄与している。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
日本脳炎の予防に用いられる。製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			

ニュースリリース

2019年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<https://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2019年 10月2日	季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来VLPワクチン(MT-2271)の承認申請受理(カナダ)のお知らせ
10月9日	視神経脊髄炎関連疾患治療薬イネピリズムブに関する米国ビエラ・バイオ社とのライセンス契約締結のお知らせ
10月11日	LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で 最高位「ゴールド」を受賞
10月16日	令和元年台風第19号に伴う災害に対する義援金について
10月25日	バダデュスタット(MT-6548)の腎性貧血患者を対象とした国内第3相臨床試験結果を米国腎臓学会で発表予定
11月1日	データサイエンス分野での人材育成を本格化し、滋賀大学と製薬・ライフサイエンス企業向けデータサイエンス教育プログラムの共同開発を開始
11月11日	HIF-PH阻害剤「バダデュスタット(MT-6548)」の国内第3相臨床試験データについて米国腎臓学会(The American Society of Nephrology)にて発表
11月11日	MT-7117の赤芽球性プロトポルフィリン症を対象とした第2相臨床試験「ENDEAVOR試験」の結果について
11月18日	支配株主である株式会社三菱ケミカルホールディングスによる当社株式に対する公開買付けに係る意見表明及び応募推奨に関するお知らせ
11月18日	2020年3月期の期末配当予想の修正(無配)に関するお知らせ
11月25日	ALS治療薬エグラボン 経口懸濁剤MT-1186のグローバルでの第3相臨床試験開始について
11月27日	抗アレルギー点眼剤「アレジオンLX点眼液0.1%」を日本で発売(参天製薬と共同発表)
2020年 1月8日	支配株主である株式会社三菱ケミカルホールディングスによる当社株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ
1月14日	代表取締役の異動(社長交代)に関するお知らせ
1月14日	「SGLT2の分子同定とその阻害剤の開発」により「第3回日本医療研究開発大賞/内閣総理大臣賞」を受賞
1月17日	株式会社三菱ケミカルホールディングスによる当社株式に係る株式売渡請求を行うこと、当該株式売渡請求に係る承認及び当社株式の上場廃止に関するお知らせ
2月5日	田辺三菱製薬は、ヤンセンと実施中の「ステララ」における日本国内でのコ・プロモーションについて、適応追加承認申請中の潰瘍性大腸炎に対象を拡大
2月12日	医療関係者向けWebサイトにAIを利用したチャットボット「たなみんmed」を導入 - 24時間365日 医薬品情報へのアクセス性向上を実現 -
2月17日	中国における新型コロナウイルス対策への支援について
2月21日	睡眠障害治療薬「モディオダール錠100mg」効能追加の承認取得のお知らせ(アルフレッサ ホールディングスと共同発表)
2月25日	代表取締役の異動に関するお知らせ
2月26日	当社株式の上場廃止のお知らせ
3月9日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」第8期 助成先決定のお知らせ
3月12日	カナダ子会社における新型コロナウイルス感染症への取り組みについて
3月25日	既存治療で効果不十分な中等症から重症の潰瘍性大腸炎に対する「ステララ」の適応追加承認を取得
4月1日	シンボニー(ゴリムマブ)の在宅自己注射による潰瘍性大腸炎治療の新たな選択肢のお知らせ
4月28日	季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来VLPワクチン(MT-2271)の米国における開発計画の変更および減損損失(非経常項目)発生のお知らせ